



## 祝 入学 ~夢に向かって~

市内小・中学校で4月11日(月)に入学式が行われました。  
この日開校となった老上西小学校では1年生148名が入学し、真新しい学び舎での第一歩を踏み出しました。

午前9時から体育館で開校式が行われ、川那邊正教育長が開校を宣言。児童代表が「笑顔とやさしさでいっぱい明るい小学校になればと思います。」とあいさつしました。その後の入学式では、1年生が6年生となかよく手をつないで入場しました。1年生は、2~6年生が歌う新しい校歌を、目を輝かせて聴いていました。

### 平成28年度 老上西小学校【めざす子ども像】

自ら考え、表す子ども  
自分の力でやり抜く子ども  
共に生きる子ども  
新しい学校づくりにかかわる子ども



教育長の開校宣言の挨拶

# 文化財の空間で伝統芸能鑑賞講座 「本陣楽座」

平成二十八年度は史跡草津宿本陣の一般公開をはじめ、二十年目これまでも文化財としての本陣を活用した取り組みを行ってきた。文化財としての建物だけを見ていただくのではなく、文化財に親しみ、先人が守ってきた文化財の大切さを知ってもらい、次代に継承していくことを目的に、本陣を四季折々の設えを施し、季節ごとの空間を見ていただく工夫もしています。

また、草津宿が賑わった江戸時代の文化に親しんでもらえる伝統芸能鑑賞講座「本陣楽座」を平成二十六年から開催しており、好評をいただいております。平成二十八年度は第一土曜日に開催していただきます恒例の「落語会」とともに、第三土曜日は新たに和楽器を鑑賞いただく「和音会」を開催します。

いずれもプロの落語家や津軽三味線・尺八・和太鼓などの奏者によるもので、身近で、かつ演者・奏者さんと親しく触れ合えるのも好評です。



第一土曜日、第三土曜日の午後は史跡草津宿本陣で、伝統芸能に触れてみませんか！

出演者など、詳しくはホームページやチラシ、また草津宿本陣へお尋ねください。

ホームページ  
<http://www.kusatsujuku.jp/>

問 草津宿本陣  
TEL(561)6636  
FAX(561)6636

## みちしるべ

### 草津へ鉄道がやってきた

明治になると人々の交通手段は街道から鉄道へと変化をします。明治五年(一八七二)に新橋—横浜間、関西では明治七年に神戸—大阪間、さらに十年に京都までが開通します。東京—京都の新旧の都を結ぶ鉄道敷設にあたっては、東海道筋と中山道筋の両案がありました。山間部を通る中山道筋案が経済効果が高いと中山道筋で建設が進められていきました。滋賀県内では大津—長浜間は琵琶湖の定期航路によって連絡する方針でした。しかし、鉄道敷設は湖東地域の発展に不可欠であるとし、旧彦根藩主井伊直憲ら沿線住民は長浜—大津間に湖東鉄道建設を請願しています。

その後、明治十九年には工費・工期や、開通後の所要時間の関係から東海道筋へ変更になりましたが、名古屋以西は、江戸時代の東海道筋ではなく、岐阜・大垣経由で長浜へ接続されました。この時点では、長浜—大津間は湖上連絡でしたが、ふたたび井伊直憲らが湖東鉄道の建設を促し、明治二十一年に建設が承認されました。そして、明治二十二年七月に深谷(米原市)と馬場(大津市膳所)間の湖東鉄道が開

通し、このときに草津駅が開業しました。草津における鉄道の幕開けです。

草津駅開業から五か月後の明治二十二年十二月、草津—三雲間の関西鉄道が開業、翌二十三年五月には柘植まで、さらに十二月には四日市間が開業し、江戸時代の東海道と中山道の分岐点と同様に鉄道分岐点になります。

今では草津—京都間は新快速で約二〇分。明治二十三年の時刻表によれば約一時間かかりましたが、当時の人々にとつては、江戸時代の街道を往く移動とは隔世の差と感じたことでしょう。



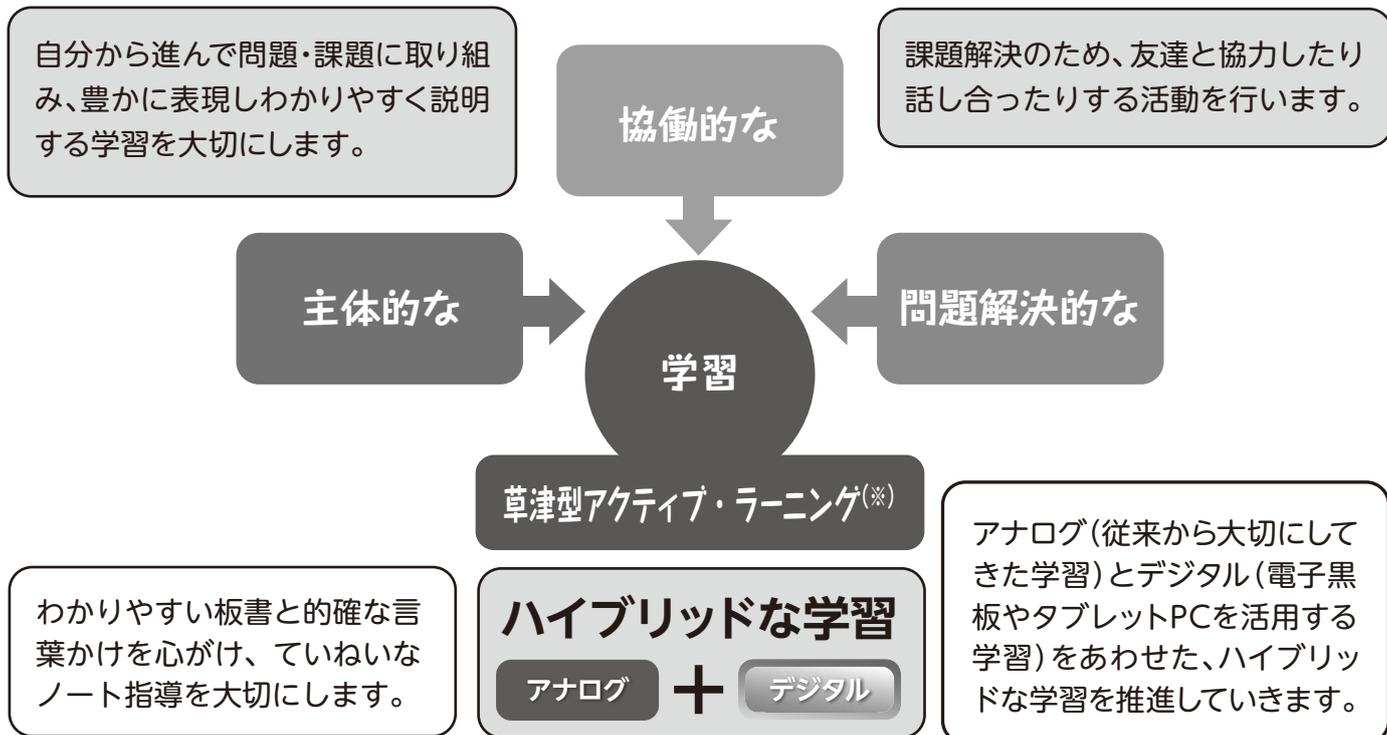
大正末期の草津駅

問 草津宿街道交流館 TEL(567)0030  
FAX(567)0031

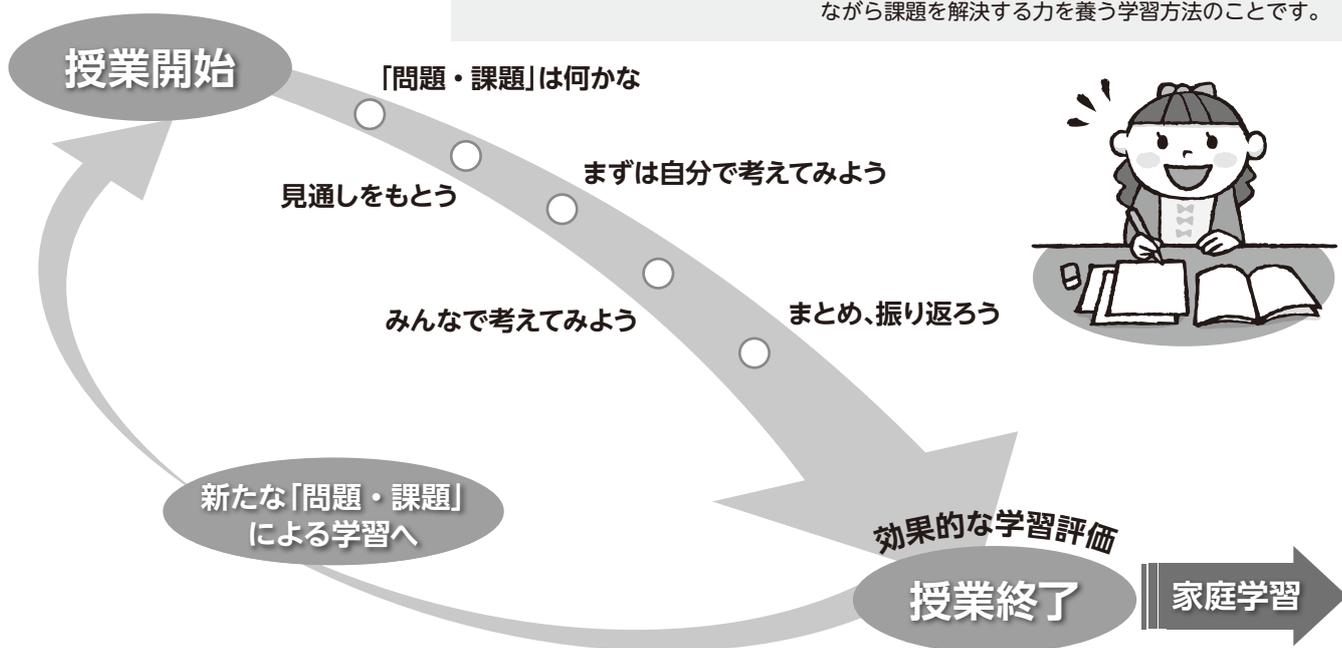


# 平成28年度の重点 「草津市の小・中学校は、こんな授業をめざします」

草津市では、学ぶ楽しさを味わい、一人一人に「学び続ける力」「共に生きる力」を育む授業を心がけてきました。今年度は、主体的・問題解決的な取り組みをさらに重視し、学び合いを大切にした授業、分かることやできることを実感できる授業を通じて、思考力、表現力、判断力等をバランスよく育んでいきます。



※アクティブ・ラーニングとは…教師からの一方的な講義で知識を得るのではなく、子どもたちが主体的に学習に参加し、仲間と深く考えながら課題を解決する力を養う学習方法のことです。



**なかまづくり、学び合い、学習のルールを大切にします**

ご存知ですか？

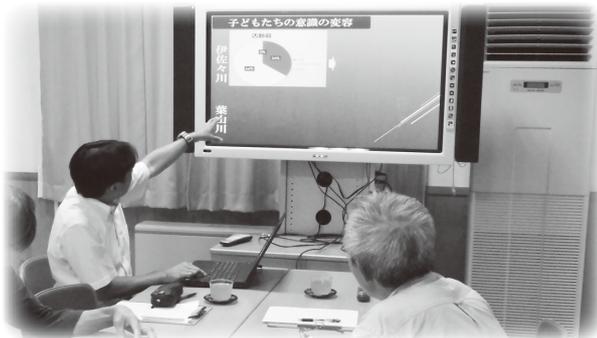
# 社会教育委員



草津市では、現在15名の社会教育委員が活動しています。『社会教育委員って何をする人だろう??』『よくわからない・・・』という方が多いのではないのでしょうか。

社会教育委員は、市民がさまざまな学習活動を通じて、生き生きと心豊かに過ごすことができるよう、計画立案のために研究調査を行ったり、会議に出席して意見を述べるなど、地域の社会教育の充実に努めています。

平成26年、27年度の委員活動として、地域での社会教育活動取材し、一冊にまとめた活動事例集を作成しました。健康・環境・まちづくり・子育てなど、13の事例が掲載されています。何かをはじめたいとき、学習活動に参加したいときの参考になればと考えています。この事例集は、生涯学習課や市民センター（公民館）、図書館などの窓口のほか市ホームページにも掲載しています。



取材を重ね、事例集をつくりました。

**問** 生涯学習課 TEL(561)2427  
FAX(561)2488

# 「草津市ことばの教室」が新しく老上小学校に設置されます。

ことばの教室は草津市内園・所に在籍する4・5歳児を対象に、一人一人の子どもの困り感や特性に応じて、個別や少人数で指導を行う教室です。

山田小学校に加えて、平成28年度より老上小学校内に1教室増設することになりました。市内全域から、どちらかの教室に通級してもらいます。



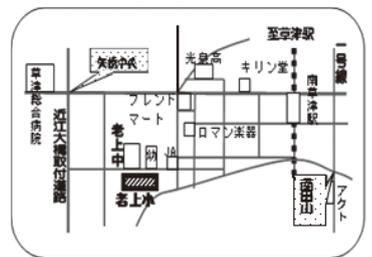
**草津市ことばの教室では、次のような子どもさんの相談や指導をしています。**

- ことばの発達や発音を心配している。
- 園所や家の外、人前などでしゃべることが苦手である。
- ことばはいっぱい持っているけれど、時と場合に応じてうまく使えない。
- 友達とのかかわりがうまくいかない。
- 気持ちや行動の切りかえが難しい。

- 通級については、まず、園所の先生にご相談ください。
- 通級は保護者の送迎を原則とします。
- 通級のために保育を抜けることがあっても、遅刻・早退・欠席にはなりません。
- 指導を受けるための費用はいりません。

**<山田小ことばの教室>**  
草津市北山田町350  
TEL&FAX 077-563-0085

**<老上小ことばの教室>**  
草津市野路町517  
TEL&FAX 077-562-0332



**問** 学校教育課 TEL(561)6034  
FAX(561)2488

記事に対するご意見、ご感想などがございましたら、下記までご連絡ください。

## 草津市教育委員会事務局 教育総務課

〒525-8588 滋賀県草津市草津三丁目13番30号  
TEL: 077-561-2425(直通) FAX: 077-561-2488

教育委員会の活動については、  
草津市ホームページでご覧いただけます。  
<http://www.city.kusatsu.shiga.jp/>



第14号は  
10月1日発行予定です

「コンパス」は、円を描く道具と、方位を示す羅針盤の二つの意味を持っています。

本誌の提供する情報が皆さまの「縁」や「輪」を描くことができるように、また、教育の進む方向を示す道しるべとなるように、という想いを込めています。

